

春 蘭



発行日：令和5年6月16日(金)

発行責任者：渡辺 博明



岩根小ホームページ

学校教育目標：夢に向かって進み、共に幸せな未来を拓く

学校教育目標を目指して ～道徳科と学級会の充実～

今年度、学校教育目標を「夢に向かって進み、共に幸せな未来を拓く」とし、その実現を目指して邁進しているところです。具体的に取り組んでいく内容は、学校経営グランドデザインにも示しましたが、今回は、「よりよく生きる力」についてお伝えします。

少し前になりますが、5月15日(月)に、校内研究で道徳科と学級会の提案授業を行いました。道徳科や学級会は、1年生からの積み重ねが必要な学びであり、一部の学級で単年度だけ行っても効果は期待できません。また、授業において重視するポイントを学校全体で明らかにし、どの学級でも共通に実践していくことで、指導の効果が高まっていきます。そのため、年度始めに、教員同士、互いに授業を見合う場を設定し、授業展開の具体的なイメージがもてるようにしました。



自己を振り返る<道徳科>

道徳科では、5年2組が「よりよい学校生活、集団生活の充実」について考えを深めました。本校の道徳科で大切にしているのが「振り返り」です。

「高学年になって、自分から学校のよさをつくろうとしてきたらどうか」が、子どもたちの振り返りの視点でした。本気で「自己を見つめる」子どもたち。

「自分は意識してきた。」「学校のことをがんばってはきたけど、『学校のよさ』までは意識してなかった。」など、子どもたちは、自分の率直な思いを語り、真剣に友達の話聞いていました。考え方は十人十色。そこに正誤はありません。友達の考えを聞き、多様な価値観に触れることで、また、新たに自分の考えを深めていきます。これからも、「振り返り」を大切にしていきます。

学級会では、3年1組が「なかよしの会をしよう」の議題のもと、「ドッジボールをどのようにやれば、もっとなかよくなれるか」を話し合っていました。学級替えがあった3年生にとっては必要感のある議題ですね。

3年生になれば、司会もノート記録も自分たちで行っていました。大切なことは、自分たちで話し合い、決定し、実践することです。当然、意見は分かれるときもありますが、それこそが学級会の肝の部分です。意見を主張するだけでは決定には至りません。平行線をたどるだけです。ですから、「折り合い」をつけるためには、譲り合ったり、アイデアを合体させたりといった試行錯誤が必要になります。

話し合いという体験を通して、子どもたち自身が「折り合い」を学んでいきます。これが「なすことによって学ぶ」ということ。今後も大切にしていきたいと思います。



折り合いを学ぶ<学級会>

7月4日(火)には、今年度、第2回目の授業参観を実施します。全学級一斉での道徳科の授業を公開します。子どもたちが、様々な道徳科の内容についてどんな思いをもっているか、今までの自分をどのように振り返り、見つめているか、ぜひ、ご参観ください。

また、授業参観後、学年、学級懇談会も予定していますので、ぜひ、道徳科の授業の感想をお伝えください。懇談会では、1学期の成長や生活の様子、がんばらせたいことについてもお伝えします。保護者の皆様からも、多数ご意見をいただきますようよろしくお願いいたします。



地域の方から ～共に育てる～

地域の方から、お褒めの言葉をいただきました。

- 進んであいさつできる子がいて、心が和みます。
- 高学年が、下の学年の面倒を見ながら登下校している姿をよく見かけます。

同時に心配事も伝えていただきました。

- 「花いっぱい運動」で街路樹周辺に植えた花をむしっている子がいました。
- 帰り道、石や空き缶を蹴って、人の家の敷地に入れている子がいました。



どちらも岩根の子どもの姿であり、よさも課題も併せもっているのが子どもだと思っています。よさは認めつつも、課題についてはしっかりと指導しています。このことは、昼の放送で全校生に伝え、学級ごとに考えさせました。指導は迅速かつ一斉に行うことが大切です。情報提供に感謝いたします。

あらためて、保護者の皆様、地域の皆様と情報を共有し、連携しながら、共に岩根の子どもを育てていくことの大切さを実感しました。引き続き、岩根の子どもたちを見守り、適宜、称賛や注意も含め、お声がけをいただきますよう、今後ともよろしくお願いいたします。

SNSに潜む危険 ～人権教室（6年）～

6月12日（月）、6年生を対象に人権教室をオンラインで実施しました。今回のテーマは、「SNSとの正しい付き合い方」です。子どもたちは、SNSに潜む危険を知識としてはよく理解しているようでした。

ただし、長時間の利用をどのように控えるかとなると、「区切りのよいところでやめる」という子もいれば、「なかなか、やめられない」と本音を漏らす子も見られました。

SNSは、その利便性の半面、危険性も多くはらんでいます。子どもを危険から守るためには、保護者の皆様による管理は不可欠です。家庭におけるルールづくり、定期的な確認のため、その都度、子どもたちとSNSについて話し合う時間を取るようお願いいたします。



SNSの使い方を振り返る

努力を称えて

～南達陸上 日清カップ県北予選会～

6月12日（月）、前号でお伝えした南達陸上入賞者の賞状伝達式を行いました。限られた時間の中で、目標の達成を目指しがんばった6年生。

今回は入賞できなかったメンバーも含め、全員一丸となって取り組んだ結果です。そのがんばりに心からの拍手を送ります。おめでとうございます。



女子リレー（6-2）

また、「県小学生陸上競技大会（日清食品カップ）県北予選会」において、「コンバインドBの部（走幅跳・ジャベリックスロー）」で見事優勝した、女子児童（6年）の表彰も行いました。次は、いよいよ県大会。その「夢」が叶うことを願っています。

みがき残しにびっくり！

～歯科教室（3・4年）～

6月7日（水）に、歯科衛生士さんをお招きして、3・4年生が「歯科教室」を実施しました。今回、コロナ禍において控えていた、染め出し指導を取り入れました。染め出し用の薬を口に含み、赤く残ったところがみがき残しです。

子どもたちは「うわーっ、赤い!」と言いながら、みがき残しがあることに驚いていました。

小さいうちは、大人による「仕上げみがき」が必要とのことでした。歯の健康のため、ご家庭でもお子さんの歯みがきの様子を見ながら、適宜、取り組んでいただけたらありがたいです。



みがき残しを確認